

平成 28 年 5 月 27 日

各 位

東京都港区港南 1 丁目 2 番 7 0 号
株式会社 **JALUX** (ジャルックス)
代表取締役社長 横尾 昭信
(東証 1 部 コード番号: 2729)
お問い合わせ先
常務執行役員 管理本部長 森 泉 洋 介
(TEL 03-6367-8822)

JALUX グループ新中期経営計画「Next Stage 2020」の策定について

このたび、平成 29 年 3 月期 (2016 年度) を初年度とする 5 年間の JALUX グループ新中期経営計画「Next Stage 2020」(以下、本中期計画) を策定いたしましたので、その概要を下記のとおりお知らせいたします。

記

I. 企業理念・企業文化・事業コンセプト

1. 企業理念

「幸せづくりのパートナー ～人に社会に環境に、もっと豊かな輝きを～」

2. 企業文化

「“Challenge & Change”

環境の変化をいち早く捉え、新たな領域を切り拓いて、自らを進化させていく。」

3. 事業コンセプト

「航空分野で培われた“安心”“安全”を礎として、高品質で独自性のある事業・商品・サービスを創造する。」

II. 本中期計画のテーマ(ビジョン)

「持続的成長への新たな挑戦

～ 航空・空港分野に独自の強みを有するグローバルな企業集団へ ～

III. 基本方針と事業領域(事業セグメント)

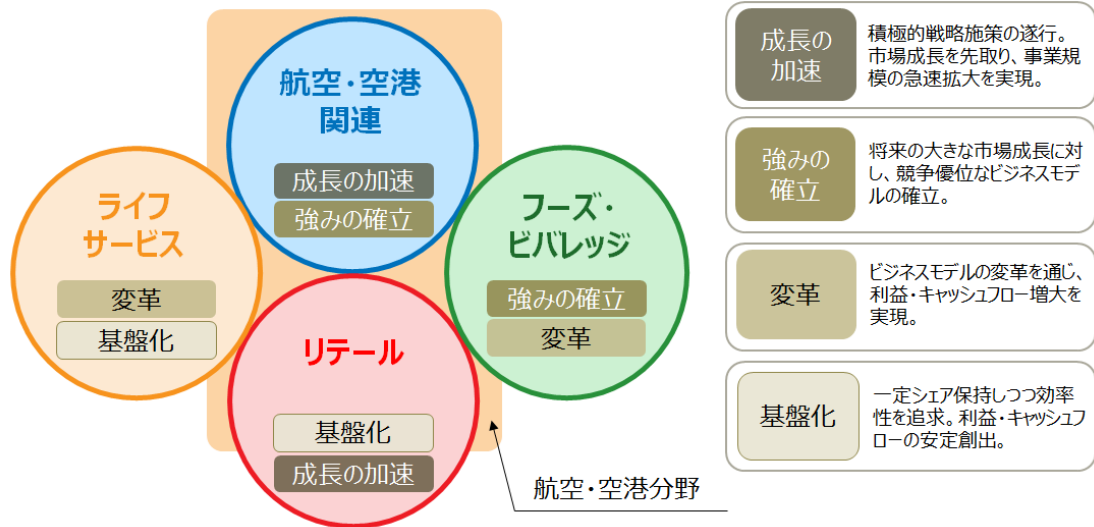
1. 基本方針

- 航空・空港関連事業領域を中心とした 4 領域で、環境変化・顧客ニーズを先取りして、個別事業を進化させるとともに、領域間シナジーも深め、グループの持続的成長を目指します。

2. 事業領域(事業セグメント)

- 本中期計画の策定にあたり、下図のとおり事業領域の再設定を行いました。

<事業領域図と各領域の方向性イメージ>



※ 平成 29 年3月期(2016 年度)にて一部領域(事業セグメント)間での事業の組替えを行っています。

IV. 重点戦略

1. 収益基盤の拡大

- 各領域における既存事業のさらなる強みの深耕、顧客・商品・サービスの拡幅、ビジネスモデルの変革により事業の拡充を図ります。
- 協業、M&A 等を積極的に活用し、事業規模の拡大やバリューチェーンの充実・強化を図ります。

2. 新たなコア事業の創出と育成

- 各領域において、新たなコア事業の創出への取り組みを推進してまいります。
- 前中期計画にて着手したコア候補事業の育成のための諸施策を加速させ、次世代に向けたコア事業の機軸化を目指します。

3. 事業ポートフォリオの最適化

- 事業の選択と集中により、限られた経営資源を適正かつ効率的に再配分し、4領域(事業セグメント)で環境変化に耐えうる事業ポートフォリオの構築を目指します。

V. 海外重点エリア

国内市場はもとより、成長著しい ASEAN 域のほか、航空産業の中心である米国を海外重点エリアとします。

VI. 戦略推進の基礎

1. 人材の育成と組織力の強化

- グローバル展開に資する人材・事業創造を牽引する人材の育成・開発を図ります。
- 全社目標を共有し、主体的・自発的に目標達成に向け協働する組織づくりを目指します。

2. 資金調達力と財務体質の健全性の確保

- 資金調達方法の多様化等、機動性のある資金調達を実行します。
- 健全な財務体質を確保しつつ、戦略投資を推進します。

3. グループ経営の深化

- グループ各社の機能・役割の明確化、領域間シナジーの追求により、グループ企業価値の最大化を図ります。
- 全体最適を実現するグループマネジメント体制の構築を目指します。

VII. 計画達成に向けたロードマップ



VIII. 数値計画(目標)

(単位：億円)

連結	平成 28 年 3 月期 (2015 年度) 実績	平成 29 年 3 月期 (2016 年度) 業績予想	平成 33 年 3 月期 (2020 年度) 目標値
経常利益	39	43	80
ROE (自己資本当期純利益率)	11.7%	12.0%	15.0%
ROA (総資産経常利益率)	9.6%	9.0%	12.0%

(参考)

連結売上高	1,415	1,500	2,000
-------	-------	-------	-------

以上

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、世界経済や為替変動等のリスク・不確定要素を含む様々な要因により大きく異なる可能性があることをご承知お願います。